

カリキュラム区分		5カリ		シラバス区分		大学院		
科目区分	科目コード	履修時期		開講専攻	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
専門分野	M211	1年	後期	看護学	選択	育成支援看護学特論Ⅲ Advanced Study of Women's Health Care III	30	2
担当教員								
中越	利佳							
関連するDPキーワード（看護学専攻）								
<input type="radio"/>	① 看護に関する理論学習を通して経験を意味づける力を身につけている。							
	② 人々の健康に関連する諸現象を分析し構造化する力を身につけている。							
<input type="radio"/>	③ 論理的に思考し他者にわかりやすく説明する力を身につけている。							
	④ 看護実践の場においてリーダーまたは管理者、教育者として個人や集団を動かす力を身につけている。							
<input type="radio"/>	⑤ 看護実践の質の向上に向けて問題意識を持ち、科学的に追求していく方法と態度を身につけている。							
<input type="radio"/>	⑥ 保健医療分野に関して広い見識を身につけている。							
関連するDPキーワード（医療技術科学専攻）								
	① 臨床検査学について自ら深く学習する力を身につけている。							
	② ヒトの体の仕組みや機能を科学的に説明する力を身につけている。							
	③ 健康・病気について論理的に思考し他者に分かりやすく説明する力を身につけている。							
	④ 臨床検査実践の場においてリーダーまたは管理者、教育者として個人や集団を動かす力を身につけている。							
	⑤ 臨床検査実践の質の向上に向けて問題意識を持ち、科学的に追求していく方法・技術を身につけている。							
	⑥ 保健医療分野に関して広い見識を身につけている。							
授業目的								
<p>プレコンセプションケアとして思春期からの継続した健康支援に関する理論を理解する。 周産期にある対象に焦点をあて、親としての意識の形成・母性意識・家族の発達に関する理論を理解する。</p>								
到達目標（授業目標）								
<p>プレコンセプションケアの概念と理論を理解し、思春期および成熟期の対象者の健康支援について考察することができる。 親になるための発達支援について理論を用いて考察することができる。</p>								
授業計画（項目・内容与方法・担当者）								
回								
1回	ガイダンス： 育成支援看護特論Ⅲの進め方							
2回	プレコンセプションケアの概念と支援に必要な理論：リプロダクティブヘルス/ライツとプレコンセプションケアの位置づけ							
3回	プレコンセプションケアの概念と支援に必要な理論：プレコンセプションケアと助産師の役割							
4回	プレコンセプションケアの概念と支援に必要な理論：国際セクシャリティ教育ガイダンスと思春期のプレコンセプションケア							

5回	プレコンセプションケアの概念と支援に必要な理論：性成熟期のプレコンセプションケア								
6回	親性発達理論： 親になる意識の発達理論								
7回	親性発達理論：女性のWell-beingと親になる意識 - 父親役割および夫婦関係との関連 -								
8回	母性意識の発達支援： 母性意識の向上と家族の発達支援 - 子育ての課題と子育てを取り巻く政策と社会制度 -								
9回	母性意識の発達支援：母性意識の発達に関連する主要概念・理論 - 女性性、親役割、母性意識理論 -								
10回	母性意識の発達支援：母性意識の発達に関連する主要概念・理論 - Transition:移行、ストレスコーピング -								
11回	母性意識の発達支援：母性意識の発達に関連する主要概念・理論 - ディスカッション:理論を通して子育て支援を検討する -								
12回	理論活用：実践場面について理論を用いて整理する－臨床場面（経験）を振り返る								
13回	理論活用：実践場面について理論を用いて整理する－臨床場面（経験）を振り返る								
14回	理論活用：実践の場における課題解決における理論・モデル活用を探る								
15回	理論活用：実践の場における課題解決における理論・モデル活用を探る								
16回									
17回									
18回									
19回									
20回									
21回									
22回									
23回									
24回									
25回									
26回									
27回									
28回									
29回									
30回									
成績評価方法及び基準									
ディスカッション内容（30%）、課題に対するレポート内容（70%）。トータル60点以上を合格とする。									
教科書	指定なし								
参考図書等	①神場征峰：実践ヘルスプロモーション、医学書院 ②エレン・Fオルシヤンスキー：ウイメンズヘルスとウエルネス、ゆう書房 ③								
授業時間外の学習について（授業準備のための指示）									
文献検討等の課題学習、プレゼンテーション準備に関しては授業時間外の学習となる。									
関連科目									
前科目	M209 育成支援看護学特論	M212 育成支援看護学演習							
後科目	M212 育成支援看護学演習								
実務家教員									
医師（医療機関）	中越利佳								
備考									